

「交通安全を身につけて」という思いを込めて 県トラック協会による文具寄贈

この春、小学校へ入学する新1年生に交通安全についての知識を伝えようと、道路標識などが描かれた文具が県トラック協会より町教育委員会へ贈呈されました。

鉛筆2本と消しゴム、定規で1セットになっていて通学路を示す道路標識などが描かれています。

3月27日、県トラック協会の方々が教育委員会を訪れ、上久保前教育長へ用品が手渡されました。

貴重な学用品をありがとうございました。



能登半島地震チャリティーコンサート義援金 贈呈

3月24日、肝付町文化センターにて能登半島地震チャリティーコンサートが開催されました。

高山吹奏楽団を中心とした、小学生から大人まで総勢53名の大合奏や千尊鐘の演奏、ダンスショーなどが披露され、町内外からたくさんの方にご来場いただきました。

後日、町文化協会を中心とした有志からなる実行委員会から町へ当日集まった義援金の手渡されました。

被災された方々を応援しようという方々の思いが詰まったこの義援金は日本赤十字社を通じて、能登半島の方々に届けられます。



JAXA内之浦宇宙空間観測所 所長異動のお知らせ

〈退任のごあいさつ〉

大学3年のときに初めて内之浦を訪れ、偶然が重なり宇宙科学研究所に就職して足繁く実験場に通うことになり、そして、突然の所長拝命から15年もの年月が流れました。この間、数多くのロケットをこの地から送り出してきましたが、常に町の皆様の激励、優しさ、熱い想いに支えられてきました。おおすみ成功後の野村先生のお言葉をお借りすると、今も皆様は日本の宇宙開発の恩人であり続けています。このことに深く感謝すると共に、今後も実験場を可愛がってくださるよう、よろしくをお願いします。



峯杉 賢治

〈新任のごあいさつ〉



大学院生のころに初めて内之浦宇宙空間観測所を訪問し、その後職員となってからはロケットの組み立て、打上げ業務に携わって四半世紀以上が経ちました。その間、M-Vロケット、イプシロンロケット、超小型衛星打ち上げ機SS-520-5号機や観測ロケットなど、幸運にも様々なロケットの打上げを経験してきました。この度、宇宙科学の聖地でもある内之浦宇宙空間観測所の所長を仰せつかることとなり大変身の引き締まる思いです。今後もこれまでのように地元の皆様のお力をお借りしながら、魅力あるロケット発射場として運営していくことを目指していきます。

羽生 宏人